夕刊
磐城時報
(第三種郵便物認可 大正八年三月七日)
昭和十三年十一月二十日 THE IWAKIJIHO (日曜日) (第七千三百六十四號) (一)
十九日發行
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社 福島縣平市紺屋町十四
發行所 磐城時報社 福島縣平市紺屋町十四
一部金貳錢 一ケ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町(電五〇九)
院長 中野惠次

足掛け五年を費した 小川江筋愈々明春完成

水利組合早くも記念碑建立計畫

小川江筋の改良工事は二十六萬圓の巨費を投じ、昭和九年着工以來五ケ年の日數を費し、愈明春三月完成するので、組合ではこの大工事完成を永久に記念するため、小川村關場地内に工費千三百圓で記念碑を建立することに決定、松崎松治氏外六名の建設委員を擧げ、昨十八日關係事務所に初委員會を開き現狀を檢分し近く着工する運びに成つた

同小川江筋は慶安三年、有名な澤村勘兵衛氏が郡北の荒野開墾を開拓するため生命を賭して完成したもので、現在赤井、下小川、平、神谷、草野、大浦、四倉の一市一町六ケ村に亘る千二百三十四町歩に灌漑し、愛谷江筋と共に關係農村の生命線である

尚記念碑の金額は有馬農林大臣に、撰文は君島知事、揮毫は同江筋の管理者たる富澤地方課長に依頼する豫定である

秋季檢閲も執行

防空訓練と相呼應して 平消防組の防火デー催し

既報、例年十二月一日全國一齊に執行する『火防デー』を東部防衛司令部管内防空演習と綜合的に行ふべく、二十六日に繰上げて執行することに成つたが平消防組では防空演習中に行ふ『火防デー』を最も意義あらしむべく、二十六日午前七時組員一同平警察署前(消防屯所)に集合、同署會議室で令旨奉讀、隊列を組んで縣社子鍬倉神社、同八幡神社で皇軍の武運長久を祈願し中學校グランドに至り『規律訓練』『服裝點檢』『機械器具點檢』等秋期檢閲を併せて執行、午後からは火防組と協力して市内全戸のカマド檢査、消防火器檢査等を執行

『防空と火防』の思想普及を圖り同夜から二十八日まで三日間引き續き防空と火防の綜合演習に組員が協力することに成つた、尚平警察署でも二十六日の火防デーに管内へ三萬一千の宣傳ビラを配布して防火思想の徹底を期すべく準備を進めてゐる

防空講演

あす公會堂で

今回の第二次防空訓練に際し市民に防空思想を徹底させるため

防空群結成式

四倉は二十一日

四倉町の家庭防空群結成式は二十一日午後一時から小學校庭で擧行

店員に防空講話

明二十日は商店法實施第二回目の公休日に當るので、平警察署では同日午後一時から同署會議室に店主及店員を集め、二十一日から執行する防空演習と家庭防空群について講演する

噫！馬目伍長

けふ第三校で悲しき市葬

中支の野戰病院で陣歿した平市二丁目出身故陸軍衛生伍長馬目英三郎君の市葬は十九日午後一時から平第三小學校講堂に於て各官公衙長、各種團体等官民八百余名參集、嚴肅裡に執行、神官の修祓、僧侶の讀經に次いで葬儀委員長青沼市長の祭文、各官公衙長、各團体長の弔辭があつて式を閉じ、菩提院に埋葬した

馬目伍長は平第一校高等科を終へて家業に從事し、大正十年仙臺山砲聯隊に入隊、同十二年看護兵となり歩兵第四聯隊に入り上等兵と成つて除隊昨年九月應召し同十月四日吳松上陸、上海戰闘を始め南京鳳陽、徐州の各地に轉戰して大別山の激戰に參加中、九月五日盧州の野戰豫備病院で陣歿、伍長に昇進した、享年三十八才、家庭には妻チヤウ(三三)長男正一(一三)長女ツヤ子(一〇)英夫(九の)三人の

參加案外少し

あすの珠算競技

平商業學校主催の第六回珠算競技大會は明二十日午前九時から同校で開催されるが參加申込みは小學兒童の部は市内四校をはじめ合計八校に上つてゐるが一般銀行會社の部は申込僅か二組である

漁業保險組合

正式認可決定

縣下漁業者の福音、本縣漁業保險組合はかねて當局へ認可申請中のところ十八日付を以て認可となつた旨農林省から縣へ指令があつた

大浦國婦一

梅干献納

大浦村細谷の國婦會員根本ツヨさん外四十七名は梅干を百匁づゝ持寄つて五貫目を皇軍勇士へ献納した

山崎平驛長榮轉

鐵道局副參事に昇進 千葉車掌區長となる

平驛長山崎花郎氏は十八日付で鐵道局副參事(高等官七等)に昇進し、千葉運輸事務所管内の千葉車掌區長に榮轉した、後任驛長は現助川驛長立枝信勝氏で、事務引繼ぎを終へ次第着任する筈である

山崎驛長は新潟縣高田市出身で東京岩倉鐵道學校から明治三十七年上野驛電信係りを振り出しに三十六年間鐵道に勤續し、大正十年鷹巢驛長、同十三年茂原驛長、昭和二年藤我驛長、同三年佐原驛長とトン〳〵拍子に進み、同十一年三月十八日安房館山自動車主任から平驛長に榮轉

在職二年四ケ月の平驛長時代に平市の七夕祭、松ケ岡公園の櫻丁目盆踊りを初め紅葉の川前紹介、ハイキングコースを設定するなど地方の宣傳紹介に盡した功績は非常に多く、同氏の轉出を非常に惜まれてゐる

四倉獵友會役員

獵友會四倉支部は十八日の總會

農産物品評會

赤井、小川兩村聯合の農産物品評會は二十三、四兩日赤井第二校に開く

×

二十五、六、七の三日間玉川村農會の品評會を同小學校で行ふ

×

二十六日から三日間上、入遠野田人三村聯合品評會を田人小學校に開く

郡北青年聯合演習

來月三日大浦方面で擧行

郡北四倉外一町七ヶ村青年學校で飼料、通信費、返送料として金一圓添へ禮狀が屆いたので同日中に關内家から學習院傳書鳩令部中野中佐指揮の下に來月三日、大野、大浦地方で行ひ、終つて四倉校に於て分列式を擧行するが參加人員六百余名である

傳書鳩舞込む

平市二丁目關内正一氏宅の傳書鳩舍へ十五日夕刻『東京目白學習院七四一號』の記號環をつけた傳書鳩が迷ひ込んだので關内家ではするが參加人員六百余名である保護を加へ、目白學習院へ照會したところ十九日同院の輸を發仁會傳書鳩部から

同七四一號は浪江町附近で失綜し行衛捜索中のもの

大脇檢事榮轉

秋田地方檢事に

平檢事局檢事大脇英夫氏は十八日付で秋田地方裁判所檢事に榮轉の旨内報あつた、昨年八月宇宮地方裁判所から轉任したばかりで、未だ三十二歳の少壯檢事は今月下旬の豫定

前線から寄附

大浦村下仁井田出身酒井榮喜君は目下〇〇の第二線で活躍中であるが、この程出征前指導員だつた青年學校へ十圓送つて來たので學校では擲彈筒を購入した

×

大浦村細谷出身の芳賀三郎君は前線から同村鈸後會、鄉軍分會草野校へ各々八圓宛送金した

氷屋さんも二十日公休

あすから實施

縣製氷工業組合平市仲買人(平製氷、魚清、丸市屋)では商店法により毎月二十日を公休日と定め明二十日から實施する、尚今後は平常の配達時間も午後九時限りと改正した

痴漢就縛

栃木縣下都賀郡大谷村生れのペンキ職山中清三郎(三五)は去る八月上旬の夜八時頃、湯本町吹矢自動車運送業矢吹二郎さん方へ主人の留守中上り込み妻久子さん(二〇)へ怪しからん振舞ひに及ばんとして驚かれて逃走中のところ十八日平署員に捕はれた

天氣豫報

今晩は北西の風薄曇
明日は北西の風薄曇時雨模様

會人【24】

平釣友會 (I)

平市在住の會員では今まで學げたほかに、磐城炭礦工作課長で平發電所に居る加美山武夫氏二丁目草野産業會社の鈴木勇氏を始め、紺屋町小川勿來廳南町古川勝男、四丁目安田矩一、同鈴木源藏、銀冶町鈴木菊松、城山竪田欽次、田町秋山季雄、同關本良平、同田島瑞穗、同鈴木勇次郎、白銀町埒山淺一、六丁目佐藤次郎、新川町堀貞良、同じく野麥社同人の野本孝雄、正月町佐藤佐市郎、鎌田町鹿島乘吉、手摺町大平直躬、番匠町關本五三、同堀江直義、北白銀町益弘勳、柳町淺田留太郎、才槌小路本田昌孝、古銀冶町小谷二三、銀冶町藤貞輔、杉平飯島正秋、北目町川上朝次郎、幕之内太田貞治の諸氏があるが、その銘々傳はいづれ他日に讓ることにしたい

船釣りでは、船を停止させておく錨代りのカシ棒を突立てやうとして力余つて裏中の川へドブンと轉落したり、風に煽られて船が自由にならず、スラリと舟を並べた釣士のスクラムの中に入り込んで立往生するなど、岡張りでは見られぬ珍景、奇談も多いがこれも稿を改めて紹介することとする

平釣友會は創立以來すでに五回の競釣會を開催して會員の釣技向上につくしたばかりでなく、十三年度には仁井田浦一帶の漁業權の讓渡を受け會員は勿論一般釣ファンのために快適な釣天國たらしめ、更に同浦に杭百本を打ち込んで隨所にかゝりをこしらへ魚族の蕃殖を計るなど、地方釣界のために殘した功績は頗る多い

現在の幹部諸氏は今まで述べた通り、いづれもこの方面には熱心な人々ばかりであり今後とも船宿ならびに釣場の改善に努め、魚族を豐富にし以て仁井田浦を縣下一の好釣場として外來釣人誘致策を講ずると共に、仁井田浦のみでなく鮫川、下川、滑津川等の釣場もまた、平釣友會の手で改善されるならば地方釣ファンのために誠に幸ひである

明日は第三日曜で幸ひ天氣もいゝらしい、仁井田浦では昨今ボラが盛んに釣れてゐる筆者も明日の出漁に備へて釣道具の手入れにかゝらねばならない、道糸のやうに長々とのびた平釣友會の紹介もこのへんで會員諸氏の釣運ますます隆盛ならんことを祈つて筆を擱くこととする(完)

戰地通信

陣中に迎へる……二度目の明治節

市内田町出身　比佐三郎君

まだ商城に居る、部隊の半部が第〇野戰病院の業務を引繼いだが我々半部は待機して雜務や第〇〇野豫病の手傳等をその日のみ仕事として居る、此處では又々才搥小路の高橋活版所の息子や平窪の矢吹龜作氏の息子等に會つた、皆元氣で居る。入院しては城内を燒拂ふと云はれてゐる人では大町の川村材木店、〇〇〇だが今日あたり退院する豫定、それから大野村の北村一郎といふ人は新店の東方兜山附近の戰鬪で十月七日午後十時決死の夜襲を決行したる際に敵手榴彈のため右大腿部に貫通爆創をうけ右膝上より切斷したが元氣だ、それから百澤に居たといふ人で植田で自轉車店を營んで居る人は左臀部の盲貫銃創だが皆元氣、足らぬ手ら幾分の力になつてやつて居る。我々もこれ以上こゝでは仕事はせぬらしく、近日中に前進する事になるだらう、廣城の先へ出ると云はれてるが、漢口も落ちたんだから或は一氣に漢口まで進むのかも知れぬ。昨日は漢口陷落の報を傳へられてスルメに擔タラ、お酒が我々半部は待機して雜務や第〇〇野豫病の手傳等をその日のみ仕事として居る、此處では又々才搥小路の高橋活版所の息子や平窪の矢吹龜作氏の息子等に會つた、皆元氣で居る。入院しては城内を燒拂ふと云はれてゐる人では大町の川村材木店、〇〇〇だが今日あたり退院する豫定、それから大野村の北村一郎といふ人は新店の東方兜山附近の戰鬪で十月七日午後十時決死の夜襲を決行したる際に敵手榴彈のため右大腿部に貫通爆創をうけ右膝上より切斷したが元氣だ、それから百澤に居たといふ人で植田で自轉車店を營んで居る人は左臀部の盲貫銃創だが皆元氣、足らぬ手ら幾分の力になつてやつて居る。我々もこれ以上こゝでは仕事はせぬらしく、近日中に前進する事になるだらう、廣城の先へ出ると云はれてるが、漢口も落ちたんだから或は一氣に漢口まで進むのかも知れぬ。昨日は漢口陷落の報を傳へられてスルメに擔タラ、お酒二合宛で陣中の祝宴を張つた、これから第四段階の殘敵掃蕩と長期建設とに取りかゝる事と想像される。（三十一字略）此の平窪の矢吹龜作氏の息子等に會つた、皆元氣で居る。入院しては城内を燒拂ふと云はれてゐる人では大町の川村材木店、〇〇〇だが今日あたり退院する豫定、それから大野村の北村一郎といふ人は新店の東方兜山附近の戰鬪で十月七日午後十時決死の夜襲を決行したる際に敵手榴彈のため右大腿部に貫通爆創をうけ右膝上より切斷したが元氣だ、それから百澤に居たといふ人で植田で自轉車店を營んで居る人は左臀部の盲貫銃創だが皆元氣、足らぬ手ら幾分の力になつてやつて居る。我々もこれ以上こゝでは仕事はせぬらしく、近日中に前進する事になるだらう、廣城の先へ出ると云はれてるが、漢口も落ちたんだから或は一氣に漢口まで進むのかも知れぬ。昨日は漢口陷落の報を傳へられてスルメに擔タラ、お酒二合宛で陣中の祝宴を張つた、これから第四段階の殘敵掃蕩と長期建設とに取りかゝる事と想像される。（三十一字略）此の平窪の矢吹龜作氏の息子等に會つた、皆元氣で居る。入院しては城内を燒拂ふと云はれてゐる人では大町の川村材木店、〇〇〇だが今日あたり退院する豫定、それから大野村の北村一郎といふ人は新店の東方兜山附近の戰鬪で十月七日午後十時決死の夜襲を決行したる際に敵手榴彈のため右大腿部に貫通爆創をうけ右膝上より切斷したが元氣だ、それから百澤に居たといふ人で植田で自轉車店を營んで居る人は左臀部の盲貫銃創だが皆元氣、足らぬ手ら幾分の力になつてやつて居る。我々もこれ以上こゝでは仕事はせぬらしく、近日中に前進する事になるだらう、廣城の先へ出ると云はれてるが、漢口も落ちたんだから或は一氣に漢口まで進むのかも知れぬ。昨日は漢口陷落の報を傳へ

（留守宅宛）

一日一言

野澤武藏

防空演習が國民にとつて如何に重要性を帶びてゐるかは、數次の訓練と、過日來指導員に依る全市民への懇切な講演講習等に依つて普及徹底し、指導者たると家庭防空群とに拘らず、擧然一致の行動を執り、萬ケ一にも燈管と防火、防毒等の作業に遺漏無きものと思ふが、然し凡ては人間の行ふことであつて、家庭防空群の大半は婦女子が占めて居る模樣であるから、行動に於て敏速を欠く者や、趣旨を履き違へてゐる者なども相當あるものと見るべきである

◇

前回の防空演習に於て見廻り指導員と、防護團員たるを問はず、違反者を出し之を責むる事を目的とするもので無いことは論を俟たず、不明な家庭に對しては懇切を旨として燈光その他の指導に當つてこそ初めて實績を擧げ得るものである、その意味に於て田町の防護團は訓練宜しきを得て戸毎に巡回し『準備は出來ましたか？二階が少し明るいやうです、警戒管制中何處の燈光ですから……』と至極温當に說明して歩いてゐたやうだつた、何處の家に注意を促してゐるのか判らぬやうに屋外からドナられると折角の注告も反感を抱かしめ惡結果を齎らす嫌ひがあるから、お互ひに感謝し合ひつゝ實績を擧げしむるやう、防護團員と指導員たるを問はず、指導上に留意され得れば幸ひである

◇

防空演習が國民にとつて如何に重要性を帶びてゐるかは、數次の訓練と、過日來指導員に依る全市民への懇切な講演講習等に依つて普及徹底し、指導者たると家庭防空群とに拘らず、擧然一致の行動を執り、萬ケ一にも燈管と防火、防毒等の作業に遺漏無きものと思ふが、然し凡ては人間の行ふことであつて、家庭防空群の大半は婦女子が占めて居る模樣であるから、行動に於て敏速を欠く者や、趣旨を履き違へてゐる者なども相當あるものと見るべきである

◇

前回の防空演習に於て見廻り指導員と、防護團員たるを問はず、違反者を出し之を責むる事を目的とするもので無いことは論を俟たず、不明な家庭に對しては懇切を旨として燈光その他の指導に當つてこそ初めて實績を擧げ得るものである、その意味に於て田町の防護團は訓練宜しきを得て戸毎に巡回し『準備は出來ましたか？二階が少し明るいやうです、警戒管制中何處の燈光ですから……』と至極温當に說明して歩いてゐたやうだつた、何處の家に注意を促してゐるのか判らぬやうに屋外からドナられると折角の注告も反感を抱かしめ惡結果を齎らす嫌ひがあるから、お互ひに感謝し合ひつゝ實績を擧げしむるやう、防護團員と指導員たるを問はず、指導上に留意され得れば幸ひである

◇

國策線に沿ふ代用品と國産報國銘仙賣出し

實用　御婚禮衣裳大提供

防寒用　シャツ・シヨール・コート・特賣

御用命は　三井呉服店へ

昭和タクシー

平驛前電話　三四三〇番

電話開通廣告

電話七六四番

右開通致しました

平市田町　平鐵工機械工業組合

新文具紹介

マルトモ書店新入荷品

イリデイウムペン

ペン先一本　一・三五　一・四〇

軸付一本　一・六〇　一・六五

本品の特色

一、ステレンススチール製ですから金ペン同樣腐蝕致しません

二、万年筆と同じい純イリデイウムがペンの尖端に付いてありますので萬年筆同樣の耐久力があります

◇　◇　◇

ペン先を大量御使用なさる處へ特にお薦め致します、御來店の上御批評願ます

祝漢口陷落

特別大興行

映畫界人氣スターと演藝界の重鎭大顏合せ

◎…二十三日午後五時開演

世界館

講談界の巨頭　神田伯龍

日本一橫笛の名人　日の宮笛龜

浪曲界の金字塔　玉川勝若

松竹スター　竹内良一

松竹・日活スター後援　日活スター　佐久間妙子

於全國清酒品評會連續優等賞受領

銘酒　鶴仙

釀造元　平市松吉屋酒造店

於全國清酒品評會優等賞受領

銘酒　近盛

釀造元　內鄕村　馬目合名會社

於全國清酒品評會連續優等賞受領

銘酒　福美

釀造元　內鄕村　合名會社　四家酒造店

蓄膿症根切藥　快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あると雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事をお奬め致します

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。

◎其他鼻骨變曲症並に中耳炎は偉大なる神効あり

快鼻湯製造元　責任製劑者　藥劑師　水野清一　福島縣平市一丁目　水野藥局　電話六九九番

毎月二十日は味鄕のサービスデー

おでん、やきとり

サツポロビール　二本　卅八錢

白菊正宗　一本　十八錢

松君德一　一本　廿八錢

竹梅　一本　五十錢

平市三田小路（三丁目裏）

酒の店　味鄕

急告

商店法實施により當仲買人に於ても毎月二十日を公休日と定め休務致すことゝ成りました御了承願ます。尙平常の配達時間も日の出より午後九時限りと改正しました、之又御了承の程重ねて願ます

昭和十三年十一月十九日

福島縣製氷工業組合　平市製氷仲買人

五丁目　平製氷株式會社　電平三二八番・三二六番

二丁目　魚清氷卸部　電平四六七番

四丁目　丸市屋魚問屋氷卸部　電平二一三番